

TW I – J S (安全作業のやり方) トレーナー養成講習会 (訓練講師養成講座)

TW I とは

TW I とは、Training Within Industry の略であり、直訳すると「産業内訓練」となりますが、これを「監督者訓練」と意識して名付けたものです。その名の通り第2次世界大戦中、徴兵でベテランが手薄となった監督者層向けにアメリカで作られた訓練であり、戦後日本にも導入され、日本独自の発展をしてきたものです。

TW I は元来、[仕事の教え方(J I)]・[人の扱い方(J R)]・[改善の仕方(J M)]の3コース(これを「3 J」という。)から成り立つもので、企業内訓練の中でも最も標準化ができていて、いずれも10時間で教えるように作られています。

この「3 J」に加えて、日本独自で開発されたものに、[安全作業のやり方(J S)]というコースがあります。これは一般社団法人日本産業訓練協会が開発されたものですが、12時間以上で教えるように作られています。以上4コース(「4 J」という。)は、職業能力開発促進法施行規則にも明記された訓練です。

今回は、これら4コースのうち[安全作業のやり方(J S)]のトレーナー(訓練員)養成講習会を開催いたしますので、ご案内申し上げます。

TW I – J S [安全作業のやり方] とは

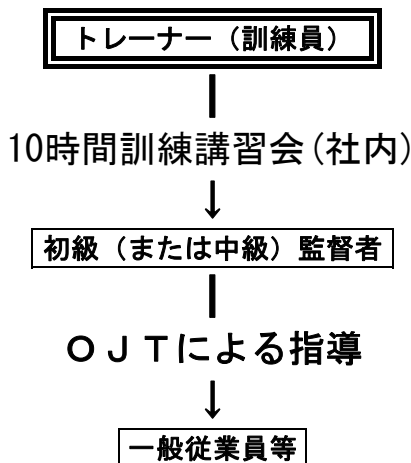
まず、「安全とは事前に対策を考えて処置することである。起こってからの事後処置ではない」ことをはっきりと認識することから始まります。

次に、災害事例について「災害連鎖方式」という原因分析を行い、事故や災害がなぜ発生するのか、そのプロセスを研究します。これは事故や災害が単に偶発的に発生するのではなく、必ず何らかの原因が影響しあって発生することを理解するためのものです。

また、全体を通して、監督者が職場の安全推進のキーマンとして「人間の尊重」と「要因の究明」に心掛けるよう強調しています。TW I ではおなじみの4段階法も、「安全作業のやり方」として上の表のように設定されています。

安全作業のやり方の4段階

第1段階	事故となる要因を考える
第2段階	対策を考えて決める
第3段階	対策を実施する
第4段階	結果を検討する



TW I – J S [安全作業のやり方] トレーナー養成コースとは

トレーナーとは、TW I – J S [安全作業のやり方] コースを訓練できる立場にある者をいいます。従って、このコースを修了し、一定の成績を修めた者は、「TW I – J S トレーナー (訓練員)」として認定され、自社内(もちろん社外でも)初級または中級監督者に対し、[安全作業のやり方]の10(または12)時間訓練講習会を実施することができます。10(または12)時間訓練講習会を修了した初級または中級監督者は、自分の部下にOJTの一環として指導することになります。

トレーナーとして認定された参加者には、一般社団法人群馬県経営者協会より認定証が発行されます。ここで認定される「TW I – J S トレーナー」という資格は、全国どこでも通用するものです。

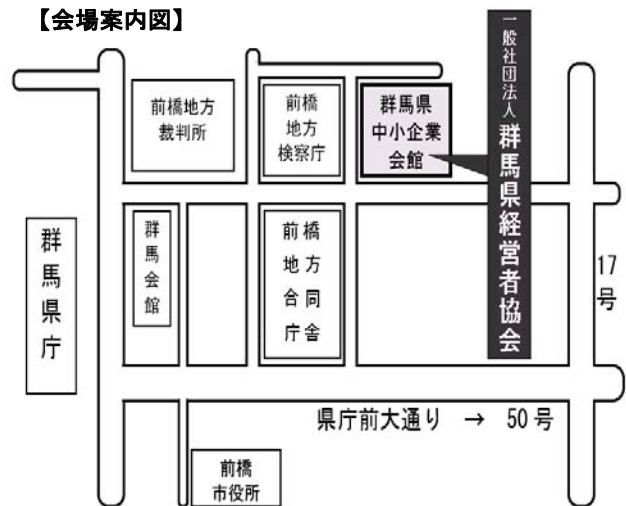
TWI-JS トレーナー養成講習会 開催要領

日	程：平成30年9月25日・26日・27日・10月2日・3日・4日の6日間（8:30～17:30）
場	所：前橋市大手町3-3-1「群馬県中小企業会館」第3会議室 TEL:027-232-0479
定	員：8名（最少催行人員4名） ※最少催行人員に達しない場合、中止させていただくことがあります。
参	加 費：会員企業 1名につき 118,800円（資料代、資格認定料、6日間の昼食代込み） （税 込）：会員外企業 1名につき 178,200円
講	師：一般社団法人日本産業訓練協会 認定講師 一般社団法人群馬県経営者協会 副会長 松井 義 治
申	込 方 法：①下記参加申込書に必要事項をご記入の上、FAXやメール等でお送りください。 ②開催が決定しましたら、参加費のご請求書をお送りいたします。
申	込 締 切 日：平成30年9月14日（金） ※定員になり次第締め切ります。
注	意 事 項：①本講習会は6日間の通いとなります。欠席や遅刻・早退、中断が多いと、トレーナーとして認定されないことがあります。特に、初日は10分以上の遅刻があると以降参加できませんので、ご了承ください。 ②筆記用具等は各自ご持参ください。 ③参加費ご入金後の返金はいたしません。また、締切日以後のキャンセルの場合は、資料代等が発生するため、全額ご請求いたします。
お	問 い 合 せ 先：一般社団法人群馬県経営者協会 担当 金野 和正（この かずまさ） TEL:027-234-2770 FAX:027-234-2771 E-mail:konno@gunkeikyo.net

過去のTWI-4Jトレーナー養成講習会 参加企業・講師派遣実施企業（順不同・敬称略）

ミツバ、山田製作所、太陽誘電、小倉クラッチ、三洋電機、サンデンホールディングス、NSKステアリングシステムズ、坂本工業、イチタン、澤藤電機、フレッセイ、オリエント、富士機械、ナカヨ、タツミ、ヨシカワ、矢島工業、正田醤油、群栄化学工業、千代田製作所、しげる工業、コガックス、ピー・アンド・ジー、国際警備、宮下工業、技研コンサル、サンワファブテック、モミモ、サンユー、東日本ダイカスト工業、両毛ビジネスサポート、ALFA、三立応用化工、石島運輸倉庫、モテキ、東葉電機製作所、ミツバロジスティクス、ルネサスセミコンダクタマニュファクチャリング、行田商工会議所、エイチワン、日野自動車、日本精工、日清紡績、スターテング工業、桐生工業、日本キャンパック、関東製酪、NSSカンラ、リスパック、日本電産サーボ 他

【会場案内図】



一般社団法人群馬県経営者協会行
FAX:027-234-2771

「TWI-JS トレーナー養成講習会」参加申込書

会 社 名				T E L	
所 在 地	〒			F A X	
担 当 者 氏 名		所 属 役 職		E - m a i l	

参加者氏名（ふりがな）	所属・役職	年 齢	勤 続
()		歳	年
()		歳	年
()		歳	年